2014 (平成26年7月25日発行)

一中地区地域のふれあいを広める会

416

土る内谷	
● 高齢者サロン「楽々夢」	1P
● 2月の大雪	TP
● 総会報告	2P
● 1中コミセン管理運営に関する経費内訳	2P
● あれやこれや/私のたのしみ	3P
● 地域のわたい	3P
● 1中コミセン自主活動団体紹介	(4P)

●発行所/ひたちなか市長堀町 3 - 4 - 1 (1 中地区コミュニティセンター内)電話 029 - 275 - 2671 ●発行責任者/大和田 敬治 ●編集/広報委員会

元気はつらつ!高齢者サロン「楽々亭」

1 中コミセンでは、昨年の8月に高齢者サロン「楽々亭」 を開設しました。地域の中で、高齢者なら誰でも自由に 参加できる仲間づくりの場所です。

じかん:第1.3月曜日

午前 10 時 00 分~ 12 時 30 分

ないよう:健康体操

昔の歌を唄う会、折り紙教室、輪投げ大会

ワンコイン (100円) カレー食事会





昔の歌を唄う会 スタッフのギター演奏と司会のリードで、 みんな大きな声で懐かしい曲を♪♪

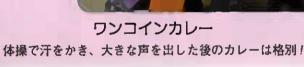
- ☆ 気軽に会える仲間ができます
- ☆ 簡単な運動で元気になります
- ☆ 人と会って楽しい時間が過ごせます
- ☆ 外に出る機会が増えます



元気アップ体操

インストラクターによる、脳トレとタオルを使った体操 (^_^)v.





かり、少し見方が変わりました。人がアパートにもいることが分したが、今回のような非常時には自治会にも入ってくれない なことを、 6協力して上手く対応できそう を交わすようになりました。 いつかまた、3年前のような 今までは「アパートの人たち 間もなく戻って来た彼は



った時のことでした。私と向か

あれは今年の2月、

中地区地域の ふれあいを広める会

2月の大雪

(2)



平成26年度 一中地区地域のふれあいを広める会

4月27日、1中地区コミュニティセンターで、市長はじめ多くの来資 を迎え、代議員・役員など92人が出席し、平成26年度定期総会が開催 され、審議したすべての案件は原案通り可決されました。また、永年 にわたりコミュニティ活動に貢献された副会長の遠藤良子氏・理事の 権瓶宏氏(大平自治会長)・理事の大島吉美氏(富士山自治会長)・理 事の大関清見氏(広報委員長)・理事の安正機氏(安全防災部会長)・ 理事の西野治氏(環境部会長)が退任され、感謝状が贈呈されました。

問 萩谷 寛・寺山 一郎 下対 修・遠藤 良子

大和田敬治

副会長 坂井 久彦 副会長原 健三 副会長 盛口 祥子 理 事 13自治会長・3委員長・6部会長 大内 勝利・小松澤 勝雄 惠 專務局 川島 博・伊藤 昭子・菊池 喜代子 業 4/27 9/6 10/12 10/23-24

一中地区地域のふれあいを広める会(本会)

芸能音楽祭 第 20 回秋季大運動会 理事視察研修

会議費

55,000

事務費

790,000

事業費 ¥50,000

事業費 ¥476,000

部会長 岡田 栄子

事業費

1,600,000

11/8-9 随時 随時 随時

本会予算

コミュニティまつり ひたちなか市コミュニティ組織連絡協議会 那珂川グランド運営管理 各種会議・ホームページ運営など

¥3,241,337

助成金(委員会・部会費)

¥ 6,820,337 歳入

平成26年度歳入・歳出予算

¥ 6,820,337 蔵出



事業費

コミュニティまつり

理事研修会

委員長

まちづくり市民会議・委員会など

実践部委員会

槛

委員長 盛口 祥子 10/12 第20回一中地区秋季大運動会 11/8.9

随時

コミュニティまつり 交流会・委員会など 796,337 3,579,000

広報委員会 專

予備費

專業費 ¥819,000 委員長 伊藤 昇

事業費 ¥330,000

部会長 岡田 豊勝

當

車

広報紙(ふれあい)年3回発行 随時 取材・編集

5/21 デジカメ摄影研修会

視察研修

ふれあいの旅

はまぎくまつり

9月 コミュニティまつりチラシ作成

体育部会

地域部委員会

10/23-24

11/8.9

随時

葉

惠

專業費 ¥715.000 部会長 近藤 保夫

¥40,000 坂井 久彦

第38回ソフトボール大会 4/13 5/17 理事研修会

6/15 第11回三世代交流レクリエーション大会 7/27 第10回ファミリーバトミントン大会 10/12 第20回一中地区秋季大運動会 10/26 第4回ヘルスバレーボール大会

3月 第16回ゴルフ大会 青少年部会

業 7/5 親子クリーン作戦 「市教育の日」

7/26 三世代ふれあいチャレンジ教室 1/10 まゆ玉つくり

1/31 親子ふれあいスキー

参加事業

少年の主張大会 7/11 青少年育成指導者研修 10月 2月 健全な家庭づくり振興大会

一中生健全育成の会 年3回

月2回 月1回

福祉部会

特養老人ホーム「はまぎくの里」訪問 グループホーム「そよ風」折り紙指導

子育てサロン(パパも参加)

子育てサロン

6/8

7/1

9/2

10月

第1水曜日 おあしす@中根 第3水曜日 おあしす@金上

第4水曜日

おあしす@長堀

文化部会 葉

事業費 ¥440,000 部会長 盛口 祥子

5/29 移動研修会 9/6 芸能音楽祭

10月 コミュニティまつり企画 コミュニティまつり 11/8.9

安全防災部会

事業費 ¥285,000 部会長 長岡 明美

菜

視察研修 6/13 7月 交通事故防止啓発活動

9月 防犯・防災に関する事業 11月 交通事故防止啓発活動

環境部会

事業費 ¥445,000 部会長 三浦 秀夫

專 媒

5.10.2月 地区内巡視活動

自然環境に親しむ会(三世代交流) 6/4

地区内清掃 6.7.12月

7/2 視察研修 9月 饋演会

行政施設見学会 11/27

※各委員会・部会の事業費は本会からの助成費と、その他の事業費を含めた総事業費を記載しています。

※自治会ごとの事業内容は、各自治会からの案内をご覧ください。なお、各自治会長は以下の通りです。

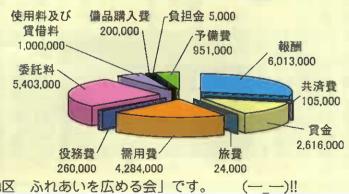
尾曲 六郎(勝田駅前南) 川内 勝夫(三反田) 坂井 久彦(大成町) 重田 政之(西中根) 山田 俊(中根) 池田 聡(大平) 武石 利文(勝倉) 伊野 昴(東中根団地) 土田 良春(富士山) 佐藤 定男(薬師台) 桑原 武夫(長 松) 清水 進(金上) 原 健三(笹野)

1中地区コミュニティセンター管理運営に関する経費内訳

平成26年度コミュニティセンターの管理運営に関する予算内訳は下図の通りです。



出 ¥ 20,861,000



※ホームページ 見てねぇ~ 検索の仕方は「一中地区 ふれあいを広める会」です。

私のたのしみ



野菜を育てる喜び 勝田駅前南自治会 横山 ゆう子さん

今までやってみたいと思っていたのになかな かできなかったことを、去年から思い切って始め ることにしました。それは家庭菜園です。

近所の方に、農地を一区画借りることができま した。今まで手伝い程度にはやったことがありま したが、一人でやるのは初めて!! マルチを張り、 キュウリ・トマトなどの夏野菜を植え、支柱をや ぐらに組んだときは、自分の作品ができあがった ようで嬉しかったです。特に、キュウリは私の思 いに応えてくれ、おそらくは200本以上を実ら せてくれました。命をいただいていることへの感 謝の気持ちが自然と湧き上がり、収穫の度に「あ りがとう」とキュウリたちに話しかけました。ス ーバーで買って食すのとは全く違う喜びがあり ました。夏野菜のシーズンが終わり、収穫後の片 付けは、大切な友だちと別れる寂しさがありまし た。

さて、また春が来て、夏野菜を植える時期に なりました。「今年はどんな野菜たちとの出会い があるだろう」野菜の成長を見守り、収穫の喜び を味わう季節がもうじき訪れようとしています。





りました。 に考えを改めることにな ることは素敵だ」 なのに・・・。 動を嘆きながら来たはず がさみしくて、 離れ友人たちと別れるの 気持ちで引っ越してきま 大阪を旅立った5年前。 田戦艦ヤマトをBGMに 「ここで子育てができ た。生まれ育った地を 勤経験の豊富な友人に 配されて、 庭にはカプトムシ 夜は星がきれい。海も山も川も も遊びに 泣きそうな 主人の 気分は宇 とすぐ 転

> の気持ちる んに助けていただいてそ族の夢となり、また皆さ それから金上永住が家っています。 き出しも、 見守られて育ってい 新鮮な野菜をいただいた せていただきました。 くださり、 子どもたちは地域の方に がりの深いところです。 やペットポトルを分けて 農業体験ができたり、 あの地震の時も食品 井戸水も使わ ました。 ずっと心に残 ま

注意し いきた。 母親がいたので、きつく の頃より吸っていたので どもに優しく真正面から とがあった。「大人は子 待事件などがあり、マス コミに取り上げられたこ 庭内暴力問題や子ども虐 きた。この間、 止活動や指導にあたっ 主任児 して欲しい」と訴えて 児童・生徒の非行防 成2年定年退職。民 たまたまと思うが 喫煙していた子が た。「私も中学生 童 委員を拝 市内に家

ける、優しい地域社会の 共に支えあって生きて がなく美味しかった」と 方々ではあるが、それぞ のこと。料理方法を説明 立てています。 続けたいと目標を ときになった。 た様子だった。ポランテ 話すとにこにこと満足し 」と訴え続けている。 い者もそうでない人も おられる。私たちは「障 心に病をも アとして喜ば、 に目標をもって生活し また作ってあげると

って

いる

いひと

地域に感謝して 金上自治会 池堂 文子

帰ってく

い経験です。 とに様々な行事があり 世代を超えて地域のつな そして、 大阪では考えられな 金上は季節

主任児童委員活 とボランティ 中根自治会 動

た。「今まで食べたこと

うお魚でどんな風にして 献立に出たとき利用者の ランティアとして、 料理したの」と尋ねられ の精神障がい者施設また2年前から、 人から「これは何と サワラの照り焼きが がい者施設に して

111 望者は1中 整備し グランドを t ま

かかわって欲



で貸与いただいています 使用可能です ソ「乗用芝刈機」を無償 5月37日に有志約15人で 的広場(勝田橋付近)は # #3 Fo 無用芝刈機無償貸与! ーツ団体のご厚意によ 地区の団体が無償で ーグランドの多目 市内のス

駐車 るようにし てトラロー 目でわか した を 場 張 PF IJ

側駐車場は駐車区分がな ボランティアの協力を得 している」等の意見から い「2台分を1台で占有 利用者の「コミセン西

駐車場を整備!

のわだい

グラウンドゴルシ

(Basil

大成町自治会

毎週金曜日の午前10時から、勝倉公園 においてグラウンドゴルフを楽しんでい ます。このスポーツはルールが簡単なた め、いつでも・どこでも・だれでも手軽にブ レーすることができます。現在は60歳か ら90歳の男女15人程で活動しています。

ブレーする前に準備体操をしてから、そ れぞれ何組かに分かれてスタートします。 自分で打数を数え、一喜一憂しながら回 り総打数を競っています。打数の少ない ほうが勝ち。休憩時間に皆で持ち寄った 茶菓子を食べ、おしゃべりしながら楽し んでいます。試合もあるので、体調管理 に気を付けて暑い日も頑張っています。



三反田自治会 半田和美

私たち高井子ども会は、9世帯13人の子どもたちで活動し ています。その一環として、年2回(6・12月)廃品回収を行っ ています。今回は6月1日に、1年生から6年生の全員参加で 実施しました。

昔に比べると他学年間との交流や親同士のつきあい、地域 の方々とのふれあいなどが希薄になってきているのが現状だ と思います。そんな中でこの廃品回収活動は、子どもにとっ ても大人にとっても大切なコミュニケーションの場となって います。広い地域を歩いて移動したり、重い回収箱を運んだ リ・・・。子どもにはちょっときついかなとも思うのですが、 誰一人弱音を吐くこともなく楽しんでやっていました。みん なで一つのことを協力して成し遂げる達成感も味わえ、貴重 な体験になったと思います。これからも地域の方々とふれあ える廃品回収活動を、ずっと続けていきたいものです。



ゲートめぐり

中根自治会

5月18日「海浜公園のゲートめぐり」を15人参加 で行いました。初めに西口ゲートでストレッチをして、 花を見ながら中央ゲートを経て南口ゲートへ。なかな か訪れることのないハープエリアでは香りを楽しみま した。グラスハウスではそこから見える海を眺めなが ら、美味しいアイスクリームをいただきました。海浜 ロゲートから、遊具で遊ぶ子どもたちを見ながら大草 原を通り、見ごろのネモフィラの丘では鐘を鳴らして きました。古民家を見学し、木陰で手作り弁当を食べ、 歌を歌って楽しみました。西ゲートに向かうと水の広 場から音楽が聞こえてきました。今回は入場無料の日 でフラフェスティバルが行われ、多くの人で賑ってい ました。華やかなフラダンスを見て帰りました。

充実した1日でした。



出 16

珂川と 2 も、に

勝倉自治会 武石



昭和61年8月5日水府橋付近 関東建設弘済会「洪水写真資料集」より

私の家の近くを流れる那珂 川は、那須岳を水源とし渓谷 を流れ、都市化の進んだ市街 地や平野部の田園地帯を流れ 下る、変化に富んだ環境を持 ち、鮭の遡上する清流として 有名です。この川は、過去に 何度も洪水がありました。私 が28年前に経験した、昭和 61 年8月の台風 10 号洪水に

ついてお話します。

私の住んでいる勝倉地区でも、前日から台風の影響で土砂降りの雨が降りま したが当日の朝には雨も上がり、今回の台風の影響は終わりだと思っていまし た。しかし朝から、那珂川の水位が上がっているという水害注意の市内放送が 流れ、緊迫した状況の中、昼頃から周辺の水田の水位が上がり始めたのです。 いつの間にか自宅の庭にも水が入ってきて生きた心地がしませんでした。幸い 我が家ではこれがビークで、水は2~3時間で引きほっとしました。勝倉地区 では、道路が冠水し床上浸水した家もかなりあり、どぶ臭いなか泥の始末や濡 れてダメになった家財道具を片づけるのが大変だったという話を聞きました。

今では、那珂川の洪水を抑えるために、堤防の施工・小場江用水路の安全施 設の整備(降雨時に対応できる幹線排 水路の整備・那珂川からの溢流を防止す

るための調整水門)が進められています。 私にとっての那珂川は、休みの日には 堤防遊歩道を散歩・ジョギングしたり、 すれ違う人と声を掛け合い、河川敷での 少年野球やサッカーを観戦したりするな ど、1年を通してたいへん身近な存在と なっています。



セン自主活動団体紹介

しい料理教室

男子料理教室 塩田 演弘



本教室は、平成元年から1 中コミセンの自主事業として、 現在に至っています。料理は 最もクリエイティブなことと 思い、平成2年度に古川氏と 共に入会しました。辻村先生 は、あの頃の若さと笑顔を今 に留めておられます。約26

年間も継続しているのは、規約・会計・名簿がしっかりしており人の和 があるからです。

楽しい喧嘩もありました。愉快な学級長もいました。会員の異動はあ りましたが、現在約25人おり大盛況です。これも全会員の和のおかげ です。入会の目的も「定年後の楽しみに」「一人になっても食べていけ るように」等いろいろです。会員の親睦を図るには「百杯のお茶より一 杯の酒」と、新年会をはじめ桜の花見も行いました。開花の予測が難し く、時にはブルーシートの周りに桜の造花を飾り、防寒着を着ての花見 もありました。先生のメニューにはデザートが付き、楽しみです。でも 私は、特別メニューを作るのが一番好きです。ソバ打ちもしました。毎 回の反省会で親睦が図られ、これまで怪我や食中毒もなく無事故であっ たことは何よりです。

「医食同源」、食は自然の物を丸 ごとよく噛んで食べるのが基本で す。食材に捨てるところはありま せん。約250万年前の遺伝子は現 在の人類も同じだそうです。その 時の食べ物が健康食とも言われて います。これからも、よく考え・ 学びながらさらに楽しい料理教室 になることを祈念します。



部会だより x t x t x t x t x t x t x t x t x t



中コミセンで開催_参加の子育てサロ 上 幼子の んだ。 どもたち。 当てゲ った紙コップの鉄砲で 親子体操では、ハ 親子49人の参 ロン合同に 月8日 音楽や絵本に合わせて 高 中根·長堀 ほほえまし い!!」に大喜びの子 元気な姿が会場にあ ムを親子で楽し お ハとママとで よる の3子育て あ 加があ U ン」を1 **す**(a) 親子 の「高 15 つ 組 ŧ



わえて描 て群馬への なった彼が、 を見学した。 物と歴史的な機械や道具 た。 と言葉に、 た。 午前に 午後は記 日本を代表する桐生 織物に 事故で体 いた素朴で力強い 富弘 移動研 桐生織物記念 も目を奪 人が参加 日だった。 普段見慣 1) が動かな 感動を受 に筆をく 修会を開 を見 わ

は

文化部会



なって 生徒 参加する中 して資 ゴミを拾った。 空き缶・ピン等 当に捨てられているゴミやなって地域清掃を行い、不 子クリー ーとクリー た。 小学生や、 親子で 月5日、「一 保 源リ 地域清掃を行 |護者・地域が一体と||中地区内の児童・ 中地作 ほえましかっ 学生のゴミを拾 楽しく話をする サ 照れくさそうに ンセン イクル 戦 イクルセンタ 0 が行なわ ターに搬 燃えない 不 集まった。シ

青少年部会

年2回行っている。 環境部会

で実施した。

中根地

区を24人

は道端の

いたします。

草

むらに

隠れて

て目立た

2時間で 探すとた

飲み物

のヘット 約10袋も くさん出

過去の大震災を忘れず 意識について学ん 30 位 10 位 BB 賞 菊池 萱野 (長松) (勝田駅前南) **中** 根

に備えておきたい

技

術・

なってい 震等の災害に関する知識 防災クイズに答えながら地 震を体験・脱出し、 は防災について学ぶ施設と 害が発生し 修を行った。 った街を避難する中で、 策本部が設置され、 京臨海広域防災公園にて I いる。 レベー た時に緊急災害 40人の参加 防災体験施設 ター内で地 大地震等災 災害に 通常

3位 見交換会を行った で44人が参加して、 沼」にて、 ドゴルフの研 (一中学区の入賞者) 5月1日 結果報告 堀江 西野 (東中根団地) (三反田) 中学 () 修 区と合同 会及び意 いの村潤 グラウ



新広報委員と OB

委員長 副委員長 鈴木惠 横山忠美子 併藤 昇 大関清見 今非嘉美子 荒木とも子 有質正記 広報委員 モニター 橋本賢 菊地惠子 横須賀憲次

皆さん、自然環中から投棄された

ルや空き缶が

多い。車

ものと思

ためにゴミを捨て

ないよう

境を守る

すので、よろしくお願い 4人が交代しました。心 面作りに努めてまいりま んに読んでいただける紙 新たにこれからも、皆さ 今年度の広報委員は

拾いを、 今回は



気を付けていること等を たが、車中では撮影時に 景の写真撮影は難しかっ を実施。生憎の雨天で風

市でデジカメ撮影研修会 員が参加して、福島白河 5月21日,新旧広報委 *****